

保育園のリーダーとして…

9月の子どもの様子 そら組



保育園の大きな行事「運動会」ではそら組がリーダーとなって大いに盛り上げてくれました。当日はもちろんですが、それまでの子どもたちの意欲的な取り組みや、頑張りにも成長を感じました。おみこしにも登場した『にじいろのさかな』をテーマに、クラスの競技をどうするか**何度も話し合いを重ね**、助け合ったり力を合わせたりするからこそできるものと考えてくれました。子どもたちの案からヒントを得て決まった内容ばかりです。海を表現しようと自分たちで作ったり、最後は子どもたちがにじいろのさかな役を交代したりしながら楽しんでできるものになりました。また、ステージを飾る文字や、入場門作成なども頑張りました。「6文字あるけど、うみ組さんと同じ数にする？」と聞くと「そら組だから多くやったらいいよ。先輩だから」と頼もしい答えが返ってきました😊自分たちのことだけではなく、**保育園のリーダーという意識をもって取り組んでくれた子どもたちです。**

高齢者、地域に元気を… 地域の伝統文化を大切に



子どもたちに外で練り歩きをさせてあげたく、昨年同様に美幸苑までおみこし練り歩きをしました。園内の時よりも元気に「わっしょい！わっしょい！」の声が聞こえました。美幸苑で待っていてくれたおじいさんおばあさんには、元気な遊戯を披露し、「元気でいてください」と伝えてきました。「泣きそうだったね」「笑ってくれたね」など、感じたことを口々に知らせてくれました。**人に喜んでもらえる経験**は子どもたちの心を満たしてくれたようです😊帰り道は、少し疲れ始めたところに中学生が窓から手を振ってくれていることに気付くと、「わっしょい！」声が大きくなり、お兄さんが窓から「わっしょい！」と返してくれ、子どもたちは大喜び。最後にまた盛り上がりました♪**なかなか地域で経験できなかったおみこし練り歩きは、園の行事として今後も大切にしていけたらと思います。**

- ～ねらい～
- ・生活の見通しをもったり、必要なことに意欲を向けたりして取り組む
 - ・思いや考えを伝え合いながら、目的に向かって友達と遊びや活動を進める
 - ・様々に体を動かす遊びに取り組み、多様な動きをしたり、自分の力を出したりする楽しさや心地よさを味わう

ピンチはチャンス！



リレー遊びでは「何番走りたい？」「じゃあ、ジャンケンしようか」など順番は子どもたちで話し合ったり、ジャンケンをしたりして決めるという経験を多くしました。自分の気持ちを伝え、友達の思いを聞き、チームとして勝つためにどうするか、**共通の目的に向かって取り組む楽しさ**を感じられたようです。勝ち負けも何度も経験し、嬉しい気持ち、悔しい気持ちを経験して心も大きく成長しました。そら組の子どもたちは驚くほど前向きで、転んでも、バトンを落としてしまっても**途中で諦めることなく**次の人にバトンをしっかり渡し、悔し涙はその後に…。前日に靴が原因で困った子どもがいたので、急遽『裸足リレー』に。子どもの思いを受け止めたり、寄り添ったりしていくことで、**みんなにとっていい方法を見付けることができました。**

遊びの中での学び



お店屋さん、アイドル、ゲームのキャラクターなどになりきって遊んだり、玩具を使って数や形、長さなどを比べたりして遊んでいます。ある日『ジェンガ』に使う玩具を使って『ドミノ遊び』が始まりました。もちろん一人ではなく友達と力を合わせて慎重に並べていました。途中で倒れてしまうと、悔しがったり友達を攻めてしまうこともありましたが、そこから学んで次は倒れても笑ったり、気を付けたりしていました。ようやく全て並べ終え、「いくよ～」と緊張の時が…。「…？…え？」次々倒れないのです！「あ、ここ広すぎ（長すぎ）なんだ！」と玩具の間隔が空きすぎていたことに気付き、再度玩具の間隔を確かめながら直線から曲線のものに変え、次は成功～!!遊びの中で自然と**数量感覚や言葉による伝え合いの力**が育っています。